

# 南武、中国に新工場

## 金型用中子抜き油圧シリンダー

### 価格差なくし安定供給

南武(東京都大田区、野村和史社長、03・3742・7377)は、総額2億1000万円を投じ、中国・江蘇省に金型用中子抜き油圧シリンダーの新工場を置く。6月に稼働、2010年内にも供給を始める予定。地場メーカーなどの価格差を縮め、旺盛な需要に対応する。15年に年1万本を生産し、売上高4億円を目指す。

金型用中子抜き油圧シリンダーは、自動車のエンジン用シリンダーアロックなど複雑形状の製品を成型する時、金型に取り付けて用いる。同社は国内6割のシェアを持つ。中国には輸出しているが、地場メーカーや台湾メーカーに比べて割高なのが実情。このため現地生産に乗り出す。

以下に抑える。品質やメンテナンス体制などをアピールし、拡販につなげる。新工場は江蘇省常州市に置く。建屋面積は2500平方メートル。沿岸部の上海から西に200キロほどに位置し、周囲に高速鉄道や高速道路が整備されるなど立地条件に優れる。

中国出身で同社に10年以上勤務した社員を社長にす。現地で従業員を採用し、20人程度でスタートする計画。本社で研修し、技術伝承することなども検討している。同社の10年9月期の売上高見込みは20億円。海外の生産拠点は02年に建設したタイ工場に次いで2カ所目になる。需要が増加する中国やタイで現地生産し、日系メーカーや現地メーカーへの安定供給体制を整える。